

2025-2026
企業版ふるさと納税を
活用した取り組み

100年に一度のその先へ

交流が育んだ、彩り豊かな「長崎」

約 450 年前の開港以来、長崎市は国内外のさまざまな人や文化と交流を育み、独自の発展を遂げてきました。

個性あふれた「歴史・文化」、海と山に囲まれた、美しく豊かな「自然」。

そのような環境に育まれた食材をふんだんに使い、

国内外との交流文化を背景として独自の発展を遂げた多種多様な「食」。

そして何よりも、交流を背景として、他者に寛容で思いやりにあふれた「人」。

このまちにはたくさんの魅力があります。

100年に一度の「ピンチ」と「チャンス」

長崎市が今、直面している「ピンチ」とは人口減少です。

一方で、100 年に一度と言われるまちづくりが進む「チャンス」のときでもあります。

このチャンスと長崎のまちが持っている魅力を掛け合わせることで、

長崎市はもっと元気なまちになります。

企業版ふるさと納税は、企業の皆さまが、地域の活性化を応援する制度です。

長崎市の地方創生の実現に向け、この制度を活用した寄附をお願いします。

目次



長崎市長 鈴木史朗

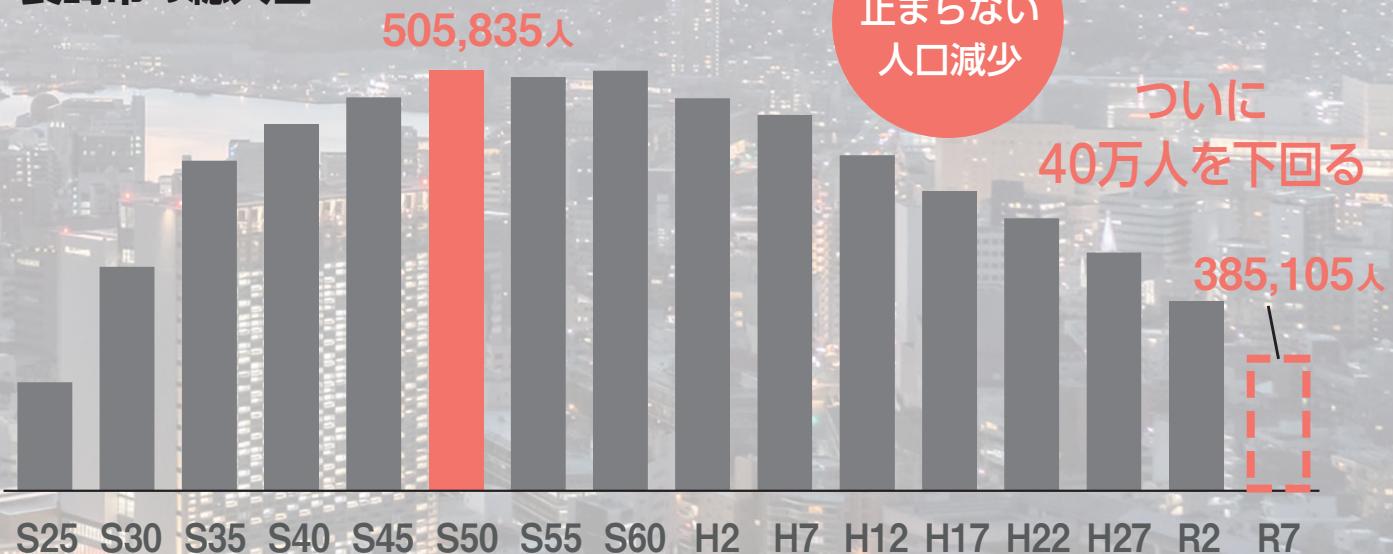
進行する人口減少・少子高齢化	p.2
100年に一度のまちづくり	p.3-4
企業版ふるさと納税の概要	p.5
人口減少対策	p.5
3つの重点プロジェクト	p.6
ピックアップ事業	p.7-8
企業版ふるさと納税のメリット	p.9
寄附の手続きの流れ	p.10
これまでの活用事業・寄附実績	p.10

進行する人口減少・少子高齢化

若い世代を中心とする転入者の減少により転出超過が拡大するとともに、出生率の減少にも拍車がかかっています。

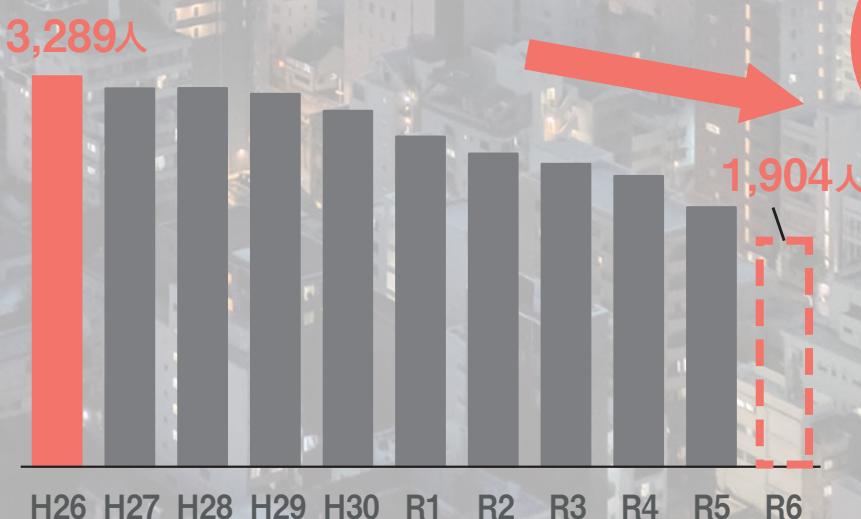
その結果、長崎市の人口は昭和50年では50万人を超えていましたが、現在では40万人を下回っています。

長崎市の総人口



※市町村合併の旧町の人口含む。
※国勢調査結果を基に作成。R7は推計人口。

長崎市の出生数の推移



この人口減少は地域経済の縮小や
さまざまな産業の担い手不足、
地域コミュニティの希薄化、
地方行財政運営への悪影響など多
くの社会的・経済的な問題を深刻
化させます。

100年に一度のまちづくり

未来に向かって長崎のまちが進化中！

歴史や文化に育まれた長崎市に新たな変化が加わることで、もっと魅力的なまちに、もっと夢いっぱいのまちになろうとしています。

西九州新幹線

2022年開業



2022年9月、西九州新幹線が開業しました。新幹線の開業にあわせて、駅や道路、駅前広場などの整備が進んでいます。鉄道の高架化により、踏み切りが減少し、交通渋滞が緩和したほか、駅周辺の土地も有効活用されています。全国とつながり、市民や来訪者の「交流・にぎわいの空間」となる「長崎の新たな陸の玄関口」として、まちに活気を生み出しています。

新駅舎

2020年開業



ヒルトン長崎 2021年開業



新駅ビル・長崎マリオットホテル

2023年開業



洋上風力発電訓練施設

2024年開業



2024年11月、国内最大規模の洋上風力技能者育成センターが開所しました。洋上風力発電設備の設置・運転・メンテナンスを担う技能者を年間1,000人規模で育成する、国内最大規模のセンターです。洋上風力発電の普及を促進し、2050年カーボンニュートラル社会の実現に貢献が期待されます。

ビジネスの舞台を、長崎へ

IT関連産業や製造業を中心に企業誘致を推進しています。

2020年～2024年

22社 立地協定締結！



企業誘致数増加中！



長崎スタジアムシティ

2024年開業



2024年10月、サッカースタジアム、アリーナ、ホテル、商業施設、オフィスからなる複合施設が開業しました。ピッチに近い観戦体験やスタジアムビューホテルが魅力で、スポーツイベントだけでなく、コンサートなども開催。試合がない日も楽しめる「非日常を日常に」を演出し、長崎の交流人口増加や雇用の場創出につながっており、地方創生の即戦力となっています。

出島メッセ長崎

2021年開業



2021年11月、JR長崎駅西側に直結する場所に、「出島メッセ長崎」が誕生しました。これまで長崎で開催できなかった規模の学会や大会、魅力的なイベントが開かれます。多くの人が集まるだけでなく、最先端の技術や情報などに触れる機会が増え、新たな交流を生み出しています。

長崎港松が枝地区旅客船ターミナル整備事業 2020年～



大型クルーズ船の2隻同時入港に対応した岸壁（水深12m、延長410m）等の整備事業が進んでいます。「長崎の海の玄関口」として、世界をつなぐ国際ゲートウェイ拠点の形成や、クルーズ船のメンテナンス事業などの長崎の基幹産業である造船業における新たな事業による、産業の活性化が期待されます。

共に動く、共に創る

さまざまな民間企業等と包括連携協定を締結し、連携・協力することで、地域課題の解決や地域の活性化、新ビジネスの創出などにつなげています。

包括連携協定締結数

22者

※2025年5月時点

企業版ふるさと納税の概要

企業版ふるさと納税は、企業の皆さまが地域の活性化を応援する制度です

「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地方公共団体の地方創生への取り組みに対して、民間企業の皆さまからの寄附を活用させていただくもので、寄附を行っていただいた企業には、税制上の優遇措置が講じられる制度です。

長崎市では、いただいたご寄附を、本市が策定した総合戦略に掲げるプロジェクト事業（※）に活用させていただきます。

（※）寄附活用事業はこちら

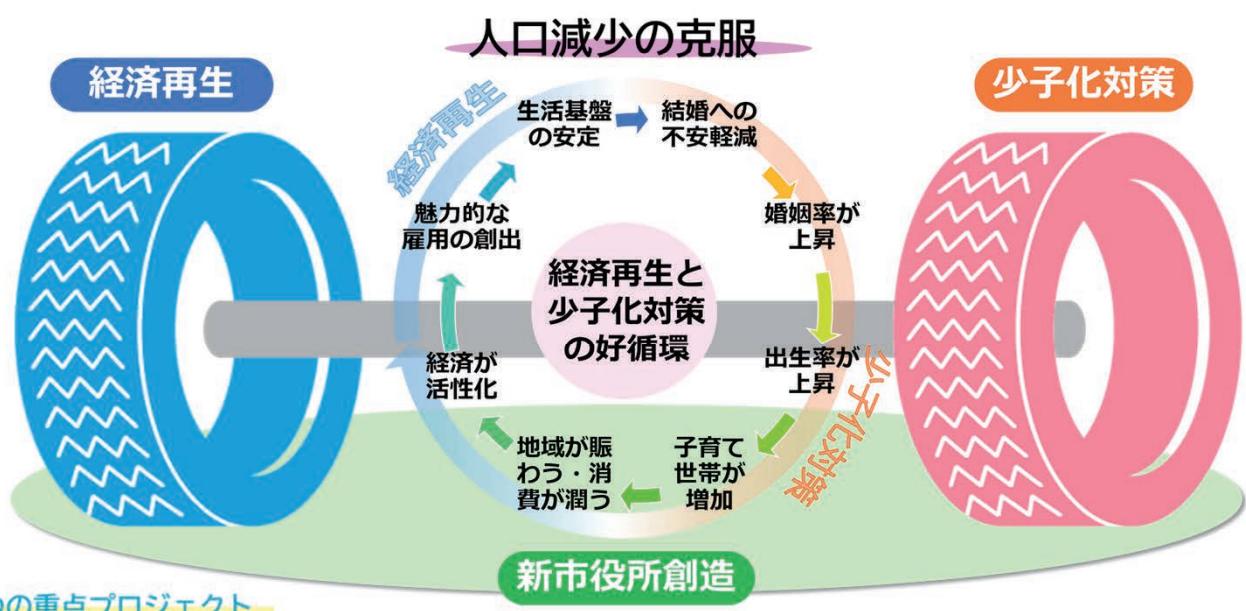
長崎市 企業版ふるさと納税

検索



人口減少対策

長崎市では、総合戦略に基づく人口減少対策の中でも特に「経済再生」と「少子化対策」の分野を車の両輪として施策の重点化を図るとともに、これらを強力に推進するための基盤づくりとして「新市役所創造」を推進するため、重点プロジェクトを設定しています。



3つの重点プロジェクト

総合戦略の事業において、特に重点的に取り組む寄附対象のプロジェクトをご紹介します。

経済再生プロジェクト

「稼ぐ」「人材」の視点を重点とし「交流拡大」「地場産業支援」「新たな産業の創出」という3つの分野を軸に、人や企業、投資を呼び込み、持続可能で力強い経済の再生を図るためのアクションを実行します。

交流拡大



提供：長崎スタジアムシティ

効果的なプロモーションによって長崎市を訪れたかたの満足度と消費単価の向上につなげるため、態勢の充実と高付加価値なサービスを提供します。

地場産業支援



地場産業の支援として人手不足に対応するための人材の確保・育成や、機会を捉えた稼ぐ力の向上を支援します。また、産地を強みとした都市型水産業・農業を推進します。

新たな産業の創出



イノベーションを牽引するプロジェクトやスタートアップを創出する取り組み、デジタルや環境などの成長分野を強化することで新たな産業の創出に繋げます。

少子化対策プロジェクト

結婚したい、子どもを産みたい、育てたいといった若い世代等の希望が叶えられ、子どもたちが笑顔で健やかに育つていける環境をつくるための取り組みを進めています。

長崎市で子どもを持つ希望を叶える



結婚したい人を後押しする取り組みや、妊娠・出産を応援する取り組みを進めています。

長崎市を選んでもらう・住んでもらう



子育てしやすい環境・雰囲気づくり、長崎市ならではの教育の充実などに取り組んでいます。



重点プロジェクトの
詳細はこちら

新市役所創造プロジェクト

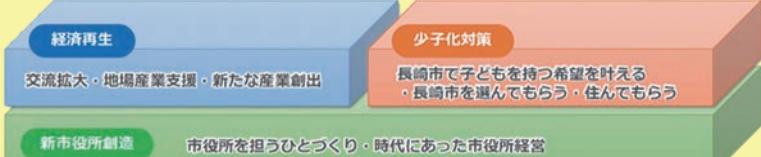
「経済再生」と「少子化対策」を強力に推進するため、時代の変化に対応した持続可能な経営を行う市役所に転換します。

時代にあった市役所経営



経営資源を有効活用し、時代の変化に対応した持続可能な経営を行っている市役所を目標に掲げ、集中して取り組んでいます。

※重点プロジェクトの設定



人口減少対策の中でも特に「経済再生」と「少子化対策」の分野に注力とともに、これらの基盤づくりとして「新市役所創造」を推進します。

端島炭坑（軍艦島）を守る世界遺産保全プロジェクト

概要

護岸整備工事

護岸総延長 1,150 m の一部の工事

【総事業費】 約 77.5 億円

【事業期間】 令和 3 年度～令和 23 年度



世界文化遺産に登録

江戸時代末期から明治時代のわずか約 50 年の間に日本が近代化を成し遂げたことを証明する「明治日本の産業革命遺産」が、平成 27 年に世界文化遺産に登録されました。

端島炭坑（通称：軍艦島）は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の 1 つであり、海底深くに埋蔵する石炭を採炭するためだけに開発された島で、炭坑の閉山に伴い現在は無人島になっています。毎年のように台風の猛威に曝される過酷な環境にあるため、護岸や高層住宅群等の構造物が被災したり、土地が洗堀されたりする危険性があります。

世界遺産の構成資産である端島炭坑を後世に引き継ぐため、長崎市は端島炭坑を囲む護岸の補強工事を行っています。



撮影：柿田 清英



護岸内陸



護岸補強工事の様子

DX 推進プロジェクト

概要

DX 推進プロジェクトは、長崎市 DX 推進計画（R7.3 改訂）に基づきデジタル化を推進する事業です。

市民の暮らしやすさや訪れる人の過ごしやすさに貢献するため、様々なデータや IoT、ロボット、AI 等といった先端技術を本市の産業や生活に取り入れ、地域経済の発展と地域課題の解決を図るとともに、先端技術を活用し業務等を効率化することで持続可能な形で行政サービスを提供し、長崎市全体が変革することを目指します。

寄附対象事業

長崎市 DX 推進計画に基づき実施している事業のうち、地方創生に資する事業が寄附対象事業となります。全ての事業が対象ではありませんので、具体的な対象事業については、お問い合わせください。



長崎市 DX 推進計画

コンセプト

人が主役のまちづくりを
デジタル技術で加速させる

目指す変化

デジタル化で変わる
市民の暮らし

暮らし × デジタル

地域の課題が解決され
自分らしい暮らしを実現

デジタル化で変わる
訪れる人の過ごし方

デジタル化で変わる
市役所

交流 × デジタル

多様なつながりと
新たな体験・価値を実感

行政 × デジタル

一人ひとりにあった
利用しやすい行政サービス



子どもたちがテクノロジーに
触れる場の創出

長崎大学情報データ科学部との共同研究事業であり、企業からも機材提供等の協力を得て、地域のデジタル人材育成に産学官で連携して取り組んでいます。



高齢者向けスマホサロンの開催

シルバー人材センターと連携し、スマホの操作に不慣れな高齢者が身近な場所で気軽に体験・相談できる環境を整備し、情報格差の解消に積極的に取り組んでいます。

長崎ランタンフェスティバル オブジェ等更新プロジェクト

概要

寄附目標金額：2,000 万円
総事業費：約 1 億 5 千万円（うち企業版ふるさと納税活用事業 2 千万円）
事業期間：令和 5 年度～
事業内容：ランタンオブジェ等の更新（製作と改修）
※ランタンフェスティバル会場において、ご寄附いただいた企業名の掲載を予定しています。

約 100 万人が訪れる祭りに拡大

長崎ランタンフェスティバルは、長崎新地中華街の人たちが、観光客が少なくなる冬の時期に、街に賑わいを創出するため、中国の旧正月（春節）を祝う行事として始まりました。

もともと「春節祭」として、長崎新地中華街で行われていましたが、平成 6 年から「長崎ランタンフェスティバル」として、ランタンの装飾エリアなど規模を拡大し、現在では、約 100 万人のかたが訪れる長崎の冬を彩る一大風物詩となりました。



老朽化した鳥のオブジェ



会場を彩るメインオブジェ

ご協力のお願い

ランタンフェスティバルの開催に必要な、機材の運搬・設営費などの経費が近年の物価高騰の影響を受け、大幅に増加しています。

このため、お祭りの最大の魅力であるランタンの購入さえも非常に厳しい状況です。いただいた寄附は、新しいランタンオブジェを製作や修繕などに使用させていただきます。

長崎スタジアムシティ連携わくわく・賑わい創出プロジェクト

概要

長崎スタジアムシティプロジェクトは、(株)ジャパネットホールディングスが手掛けるスタジアム・アリーナを中心とした複合施設整備事業です。

開業により新たな雇用の創出、交流人口の拡大や市民の新たな楽しみの創出といったことが期待される、民間主体の地域創生モデルです。

長崎スタジアムシティは、経済産業省及びスポーツ庁から「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」として選定されており、長崎市では長崎スタジアムシティと連携し、まちの賑わいなどに繋がる事業に取り組んでいます。

まちの賑わいを創出する事業

長崎スタジアムシティ開業による経済効果を最大化し地域経済等あらゆる分野への波及を目指し、「まちのにぎわい創出」へ繋げていくための各種事業を行うために活用させていただきます。
【例】スタジアムシティ内での長崎の魅力発信に係る広告など



提供：長崎スタジアムシティ

子どもの体験を創出する事業

長崎スタジアムシティと連携して新たな「子どもの体験」の場を創出し、多様な学びに繋げていくための各種事業を行うために活用させていただきます。

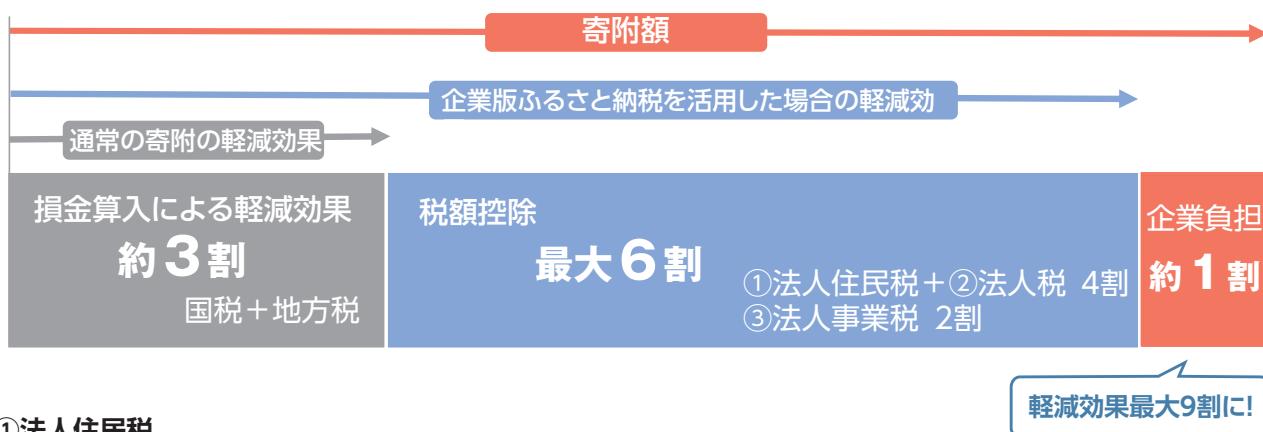
【例】高校生スポーツ大会をプロ仕様のスタジアムやアリーナで開催するための支援など

企業版ふるさと納税のメリット

税制上の優遇措置

損金算入による軽減効果と合わせ、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業様の負担は約1割となります。

【例】100万円寄附すると、最大90万円の法人関係税が軽減。



①法人住民税

寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)

②法人税

法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。

ただし、寄附額の1割を限度(法人税額の5%が上限)

③法人事業税

寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

(留意事項)

- 1回あたり10万円以上の寄附が対象
- 寄附の代償として経済的な利益を受けることは禁止(公正なプロセスを経た上で契約などは問題なし)
- 本社(地方税法における「主たる事務所又は事業所」)が所在する地方公共団体への寄附は本制度の対象外
- この税額控除の適用期限は令和9年度末まで

企業としてのPR効果

長崎市公式ウェブサイトなどで、企業様の社会貢献を積極的にご紹介させていただきます。

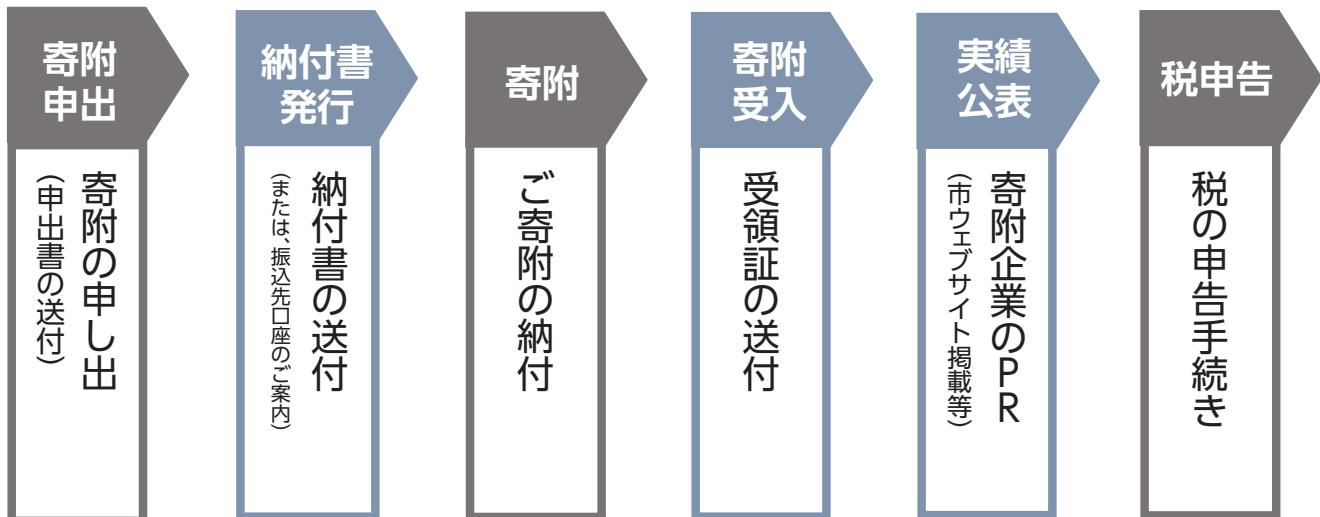
企業様の紹介はこちら

長崎市 企業版ふるさと納税 寄附企業

検索



寄附の手続きの流れ



企業様
長崎市

※詳細は、市ウェブサイトに掲載しています。
※寄附の申し出の様式もダウンロードできます。

長崎市 企業版ふるさと納税

検索



これまでの活用事業・寄附実績

年度	平成29～令和元年度	令和2年度	令和3～4年度	令和4年度～	令和5～6年度	令和5年度～	令和5年度～
施設名 (事業名)	長崎稻佐山 スロープカー	ベネックス 恐竜博物館	全天候型子ども遊 戯施設（愛称：あ ぐりドーム）	長崎スタジアムシ ティ連携わくわ く・賑わい創出プ ロジェクト	原爆資料館進化プ ロジェクト（展示 更新）	端島（軍艦島）を 守る世界遺産保全 プロジェクト	長崎ランタンフェ スティバルオブ ジェ等更新プロ ジェクト
寄附実績	2,805万円 (31件)	510万円 (8件)	670万円 (10件)	7億1,860万円 (43件) ※R4～R6	300万円 (8件)	235万円 (9件) ※R5～R6	795万円 (15件) ※R5～R6
開設時期	R2.1.31	R3.10.29	R4.10.28	R6.10.14	R8予定	－	－



長崎稻佐山スロープカー



ベネックス恐竜博物館



あぐりドーム



企業版ふるさと納税問合せ先

長崎市経済産業部商業振興課 / 長崎県長崎市魚の町4番1号

TEL : 095-829-1296 / FAX : 095-829-1151 / メール : furusato@city.nagasaki.lg.jp